

眼無曇、三千大千世界・無量世界・過去未來現在掌の中に照知照見せさせ給ふが、後五百歲、南閻浮提の一切の女人、法華經を一字一點も信じ行ぜば、本時同居の安樂世界に往生すべしと、知見し給ける事の貴く憑敷事云計なし。女人の御身として漢の李夫人・楊貴妃・王昭君・小野小町・和泉式部と生れさせ給たらんよりも、當世の女人は喜しかるべき事也。彼等は寵愛の時にはめづらしかりしかども一期は夢の如し。當時は何れの惡道にか侍らん。彼の時は世はあがり(上代)たりしかども、或は佛法已前の女人、或は佛法の最中なれども後五百歲の已前也。佛指給はざる時なれば覺束なし。當世一切の女人は佛の記し置給ふ後五百歲二千餘年に當て是實の女人往生の時也。例せば冬は氷乏しからず、春は花珍しからず、夏は草多く、秋は菓多し。時節如此。當世の女人往生も亦如此。貪多く瞋多く愚多く慢多く嫉多きを不嫌。何況此等の過無らん女人をや。問云、内外典の詮を承るに道理には不過。されば天台釋云、明者貴其理、暗者守其文。釋の心はあきらかなる者は道理をたつとび、くらき者は文をまもらんと會せられて侍べり。さればこそ此後五百歲若有女人の文は佛説なれども心未顯。其故は正法千年は四衆俱に持戒也。故に女人は五戒を持ち、比丘尼は五百戒を持